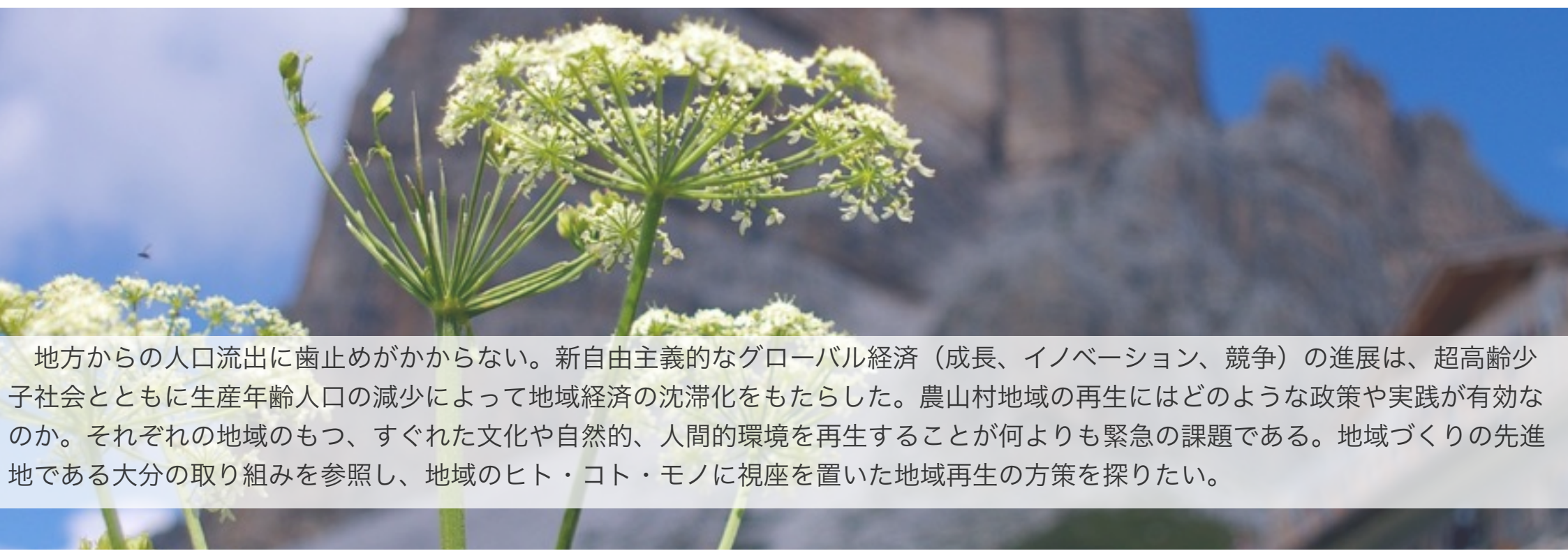


地域の魅力を考える

—仕事と暮らしを支える社会政策とは—



地方からの人口流出に歯止めがかからない。新自由主義的なグローバル経済（成長、イノベーション、競争）の進展は、超高齢少子社会とともに生産年齢人口の減少によって地域経済の沈滞化をもたらした。農山村地域の再生にはどのような政策や実践が有効なのか。それぞれの地域のもつ、すぐれた文化や自然的、人間的環境を再生することが何よりも緊急の課題である。地域づくりの先進地である大分の取り組みを参照し、地域のヒト・コト・モノに視座を置いた地域再生の方策を探りたい。

2017

5/20 土

14:00~18:00

入場無料・事前申込不要

会場

ホルトホール大分・2階
サテライトキャンパスおおいた
大分市金池南一丁目5番1号
<http://www.horutohall-oita.jp/>



●座長：
野口 定久（日本福祉大学）

- 報告者：
- 1 林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所）
「少子高齢人口減少社会における地域移動の変化
—九州の特徴」
 - 2 阿部 誠（大分大学）
「地域の人材養成と大学—その機能と限界」
 - 3 葛西 リサ（独立行政法人日本学術振興会特別研究員）
「母子世帯移住支援事業、地方型シェアハウスの
取り組み—居住福祉学の視点から」
 - 4 関司 直也（法政大学）
「農山村における地域づくりの主体形成と
地域サポート人材の役割」

●指定討論者：
棕野 美智子（大分大学客員研究員）

問い合わせ

日本福祉大学 野口定久研究室
Tel：090-4792-6468
Email：fwid5726@mb.infoweb.ne.jp